

自主と主権、社会発展

シリア、元ダマスカス大学国際経済講座長
セイバー・パロール

国際舞台で、正確には朝鮮半島で起こっている出来事を注視する人であれば、間違いなく朝鮮民主主義人民共和国が領土も小さく、人口も相対的に小さい国家であるが、国際舞台で超大国とその追随国と立ち向かって、人民の自主性を阻む世界の悪の国家アメリカ合衆国の帝国主義的野望に立ち向かって大国として奇跡的に浮上していることを目撃するでしょう。

現実には朝鮮民主主義人民共和国が大国であるということは決して驚くべきことではないということを示しています。誰かがなぜかと聞くと、われわれはこの国は偉大だ、それはこの国の状況と成果を現実で見れば分かる、と言うでしょう。

朝鮮民主主義人民共和国は物質的能力で平凡な国がどのように世界の帝国主義の専横と人類にたいするその支配に立ち向かうことができるかを全世界に示した見習うべき生々しいモデルとなりました。

今日、朝鮮民主主義人民共和国は強力な経済力を備えた軍事強国であり、政治において影響力のある国家です。その軍力はアメリカ合衆国によって恒常的につくられている外部の陰謀策動を粉砕することで表われます。強力な経済力は日増しに質的に固められ、工業と農業の繁栄で表われます。その政治的影響力はいかなる国際舞台でも自己の意思を十分に表明できることから分かります。これらのすべてはまさにチュチェ思想に根を下ろし、党と人民と軍隊の独特な団結に依拠した国であるからです。そして朝鮮民主主義人民共和国の領袖である金日成主席と金正日総書記、現代の卓越した金正恩総書記の賢明な指導を受けているからです。

朝鮮は今日、党と人民と軍隊間の驚くべき団結をもっています。この団結はかつてと同様、常に自己の指導部を中心に結束していました。世界の社会主義のとりでが揺れていたとき、朝鮮民主主義人民共和国は日増しに自国の経済をより強固にし、自分に必要なすべてのものを自らの資源と力に依拠して創造しました。続けられる封鎖の中でも朝鮮の人々は奇跡の国、強盛・繁栄する自主的国家を建設しました。今日、朝鮮民主主義人民共和国は強力で強固な経済をもった国です。

事実、朝鮮の地位と偉大さは革命的な前衛部隊である朝鮮労働党に依るものです。朝鮮労働党の業績と経験、成果は見習うに値するものです。なぜならば、朝鮮労働党は社会主義革命運動の新たな全盛期を開き、完全な自主社会建設、自立的で繁栄する国家建設のためのすべての可能性をもった政治勢力としての姿を示しました。したがって、全

世界の進歩的人民がモデルの朝鮮に大きな信念と希望をもって地球上の各地で腐敗と破壊の温床となっている帝国主義とその手先に反対して自主の旗を高く掲げたことは当然のことです。

朝鮮労働党は自分が人民の党、正義の党、自主の党であることを証明しました。朝鮮労働党は朝鮮人民と朝鮮民族をもっとも複雑な世界情勢の中で指導部の周りに結束させました。朝鮮労働党の偉大さの秘訣はその創建者である金日成主席の偉大さにあります。

天才的な主席は当初から革命闘争で革命的党創立がもつ意義を洞察し、1926年革命的党の真の種である打倒帝国主義同盟を結成しました。そして1945年10月10日には朝鮮人民に依拠し、人民のために献身する革命的党である朝鮮労働党の創建が宣布されました。朝鮮労働党が人民の党となるのは当然であり、人民が党を神聖化し、絶対的に信じるのも当然です。それは朝鮮労働党が金日成主席が創始し、金正日総書記が深化発展させて輝かせ、今日は朝鮮労働党の金正恩総書記が崇高な指導思想として守っていく偉大なチュチェ思想を体現しているからです。

チュチェ思想の見地で金日成主席が積み上げたもっとも大きな業績は、不滅のチュチェ思想を創始することによって人民大衆に自己の運命を自主的に開拓できるもっとも正しい道を示したことです。チュチェ思想は人民大衆の自主的志向を正しく反映した新しく科学的な世界観です。この思想は疑うことなく朝鮮民主主義人民共和国で革命と建設の思想的・理論的基礎、唯一の指導指針となりました。

この思想は革命と建設の主人は人民大衆であり、人民大衆は革命と建設の推進力であること、言い換えれば、人間は自己の運命の主人であり、自己の運命を決定すると強調しています。人間はあらゆるものの主人であり、すべてを決定します。人民大衆は社会歴史の主体であり、人類社会の発展歴史は自主性を擁護し実現するための人民大衆の闘争の歴史です。

われわれが朝鮮民主主義人民共和国の発展と繁栄の秘訣が金日成主席がチュチェ思想を通じて創造した思想的遺産にあると言え、それは決して大げさなことではありません。人間は自分が自己の運命の主人、自分自身の主人であるということを自覚するとき、比べようもない意志と大きな力をもって創造の原動力、すべての成功と勝利のもっとも重要なキーである自信をもつようになるでしょう。実際にこの偉大な思想が指し示す通りに朝鮮人民は自分に強要された戦争に勇敢に対応することができ、自力で日本帝国主義植民地支配から祖国を解放し、その過程で高い英雄主義を発揮しました。また、アメリカを頭とする帝国主義連合勢力の侵攻を防ぎ、勝利に勝利を収めました。

一言で言って、金正日総書記が表現したようにチュチェ思想の歴史的意義はチュチェ時代の真の革命的な世界観を示し、革命理論発展で新たな高い段階を開いたところにあり

ます。

事実、金日成主席が望んでいたように打倒帝国主義同盟の論理的意味は国際舞台ですべての帝国主義を打倒し、粉砕することです。しかし、この同盟が先におこなうべきことは、日本帝国主義を打ち破り、朝鮮の独立を成就することでした。これは実際に成就されました。最終目的は世界ですべての帝国主義を打ち破り、人民に対するその搾取行為を終わらせ、国際舞台で正義を愛するようにする社会主義制度を樹立することでした。これは国際舞台で偉大な党と指導部の指導を受ける朝鮮民主主義人民共和国をはじめ、自主性を志向する諸国と運動によって実現されています。

それゆえ、これと関連して朝鮮労働党の成功の重要な要因は党がチュチェ思想にもとづいて創建され、人民大衆中心の貴い理想を込めたチュチェ思想を自主時代の指導思想として選択したところにあると常に確言できるのです。

チュチェ思想のような不変の思想を固守したので組織性と規律性、思想性をもった朝鮮社会を安定へと導く上で党と人民の独特な団結を成し遂げて自己の威力を現実でもって証明した、団結された強力な党が建設されることができました。朝鮮民主主義人民共和国の繁栄と成功の秘訣は主席が創始した不滅の偉大な思想的土台に依拠した朝鮮労働党の統一団結にあります。

永遠な主席は朝鮮労働党を創建し、金正日総書記は党の統一団結を重視し、党の建設と強化に大きな関心を払い、朝鮮労働党の役割を強化しました。それは革命的党内における統一団結がその前進と成功のもっとも重要な要因であるからです。これが実際、朝鮮労働党内で収められているのです。全党が一つの意志で動くようになり、みんなが領袖の思想を献身的に、忠実に奉じました。そのお陰で朝鮮労働党は確固不動になり、すでに言及したように世界舞台で多くの社会主義党が崩れるときにも朝鮮の社会主義偉業はその圧殺者の前で微動だにしなかったのです。

朝鮮で朝鮮労働党と人民の関係は常に強調されてきました。党はもともと、人民のために、人民の志向と希望を実現するために出現し、革命の前衛部隊として大衆を指導するために必要なのです。党の成功は大衆がその周囲にどのように団結しているかにかかっています。それゆえ、朝鮮民主主義人民共和国の領袖が絶え間なく行ったもっとも重要な活動は、大衆の指導者としての党とその支持者としての人民間の利害関係と志向の統一を強調するスローガンを示して党と大衆の関係を強固にしたことです。朝鮮で見られるすべての政策は党が大衆とその偉業のために必要な実体であることを示すものです。

歳月の流れとともに朝鮮労働党は自分が論駁できない英雄的朝鮮人民の勝利の旗印であることを証明しました。これは1950年6月25日、朝鮮民主主義人民共和国に反対して侵略戦争を起こした悪の勢力を粉砕する過程に解明されました。当時、全人民と偉

大な英雄的軍隊が奮起して祖国の自由と自主権を守るための聖なる戦争に参加してアメリカ帝国主義の「強大さ」の神話を粉碎し、アメリカ圧制者とその手先の鼻をへし折りました。これらはすべて労働党にたいする人民の限りない信頼と団結、支持によるものです。アメリカとその同盟者の続く陰謀策動に朝鮮人民が常に立ち向かっているのは創造的な革命的党、朝鮮労働党の指導を受けるからです。

これらはすべてチュチェ思想の科学性と信憑性、論理性と現実性をしめし、その創始者の天才性、国家と社会建設の原則としてのチュチェ思想の道へと引き続き進むよう導く方の英知と老練さを示しています。

チュチェ思想の創始によって朝鮮革命は朝鮮民族が直面したもっとも厳しい試練の中でも常に勝利することができ、世界の進歩的人類は反帝民族解放を成し遂げることのできる強力な思想的・理論的武器を持つようになりました。そのお陰で朝鮮民主主義人民共和国は世界の帝国主義が行っているすべての陰謀と脅威を破綻させることができました。自己の党と領袖の周りに団結した朝鮮人民と軍隊は朝鮮民主主義人民共和国の安全と自主権を常に守護し、自己の尊厳と名誉を守ることができる政治思想的、軍事的威力をもった自主的な社会主義国家を建設することができました。

現在、遠くから、近くから関心をもった誰もが朝鮮半島でアメリカ主導の西側の陰謀と南朝鮮当局をはじめ、傀儡の策動にもかかわらず、朝鮮民主主義人民共和国が依然として必要であれば報復打撃を加える能力をもっている確固不動の国となり、朝鮮人民が信念に満ちて早いテンポで社会主義強国建設を進めていることを見えています。

もちろん、これは朝鮮民主主義人民共和国の偉大な領袖たちの卓越した指導と無比の勇敢さ、賢明さと意志のお陰です。

繁栄する社会主義国家の建設はもともと金日成主席の意志であり、金正日総書記が建設過程を推進してきたし、今日は朝鮮労働党と剛毅な朝鮮人民と英雄的軍隊が金正恩総書記の周りに結束してその道を歩み続けている。

ここでわれわれは朝鮮人民と国家がこうした特質をもったのが決して驚くべきことではないことを確言できます。

なぜならば、金日成主席が譲り渡し、金正日総書記が固守して発展させ、金正恩総書記が頼もしく継承している偉大な思想的遺産を受け継いだ人民であり、国であるからです。朝鮮民主主義人民共和国で社会主義とその建設行路、自主性を守り、朝鮮人民が収めている成果を固守することは友人たちよりも敵にはもっと明白ですが、真の指導思想と賢明で卓越した領袖たちを戴いた創造的な革命的党としての朝鮮労働党の強固さと威力を守ってきた結果です。

金正日総書記は去る世紀、社会主義諸国の政権党について研究し、経験と教訓を得、まず人民の利害関係と志向、自主時代の要求を反映した固有の革命思想であるチュチェ

思想をはじめ、金日成主席が創始した思想を固守することに集中し始めました。

金正日総書記はチュチェ思想を国際的現実と現情勢の発展に即して発展豊富化させて全党をチュチェ思想化するという方針を示しました。したがって朝鮮労働党は真にしっかりした大衆的基盤をもった党、統一団結を成し遂げた党となりました。これは世界が20世紀末、社会主義の実践における崩壊を目撃していた時に繁栄する社会主義強国としての朝鮮における成功の秘訣なのです。20世紀末、多くの社会主義経験が凋落し、ヨーロッパでほとんどの社会主義の実践と経験が消えて帝国主義西側勢力が世界におけるイデオロギーの終焉、革命的党の終焉、社会主義の終焉について喧伝し始めたとき、朝鮮労働党の指導のもとに朝鮮民主主義人民共和国は社会主義路線をしっかりと擁護固守しました。チュチェ思想で武装した朝鮮労働党は世界で社会主義の経験と革命的党が崩壊するもっとも困難で緊迫した時期に一心団結を成し遂げ、社会主義偉業をしっかりと固守しました。

朝鮮民主主義人民共和国があらゆる試練と難関を経ている時期に、朝鮮人民はさらに強くなり、偉大な党の周りにより一層団結しました。党の統一団結は党を難攻不落の要塞に打ち固め、党内で分派や派閥争いのようなものを防ぐ基本尺度でした。

朝鮮労働党の威力と不拔さの根源を突き詰めてみると、朝鮮労働党が最初から金日成主席によって創建されたからだといえます。朝鮮労働党が人民大衆の中に深く根を下ろし、人民の絶対的な信頼を受ける党になるように金正日総書記は主席が残した革命的遺産を引き続き固守してきました。それだけでなく、総書記は党を強化発展させて朝鮮のすべての生活領域で見られる実践の革命的意義を大きくしました。党が正しい規範の上に建設され、人徳政治と幅広い政治という強固な土台の上で発展したことにより、党の旗はかつてと同様、下ろされない永遠な勝利の旗印として残っていました。

この側面で必ず強調したいことがあります。革命的党はイデオロギーや社会主義の側面から見ると、西側の思想理論家や他人がよく言うように、人類の歴史や現在、未来でその役割が全部終わったわけではありません。一定の経験が凋落したからといって思想が誤っているわけではありません。われわれは確信をもって断言します。原因はこれらの思想を現実に誤って適用したことにあります。社会主義は崩壊しなかったし、崩壊しないでしょう。崩壊という言葉を用いる人々は本意でも、本意でなくても今日の世界で西側の政治経済的自由化を唯一の道にしようとするアメリカ帝国主義階層に便乗することになります。

しかし、今、いつにもましてチュチェ思想の純潔さを守ることについて深刻に考えるべきです。要はなぜ、現時チュチェ思想を堅持し固守する問題がこのように緊急に提起されるかということです。

答えは明白です。それは社会主義思想、特にチュチェ思想にたいする継続する攻撃に

対応するためです。今日、世界化は極めて危険な思想を流布させています。それを見ると、社会主義はすべての能力を消費し、自己の役割を失くした社会政治経済制度だ、資本主義が社会主義を打ち破り、その結果、社会主義は崩壊した、などです。

われわれはこういうデマを論じはしませんが、若干触れましょう。一部の制度で社会主義の実践過程に発露された欠陥とそれによる結果にもかかわらず、人類はその遺産を捨てることができません。歴史的事実は社会主義のように人類に大きな希望を与え、人々と社会の諸問題に立派な人道主義的解決を与えた思想的、哲学的、政治的体制はなかったということを示しました。社会主義のお陰で人民は植民地主義制度に反対して偉大な勝利を収め、これらの社会は先進的な高い水準に達し、多くの人民と社会に絶対的な自主権が保証されました。社会主義が自国人民に与えたこと、全人類の発展に与えた哲学的、実践的寄与を人類が忘れたということは非論理的です。

それで世界的に残っている社会主義思想にたいする非難と攻勢を前にし、われわれは必ずチュチェ思想を固守しなければならないと強調するのです。

上で述べたことにもう少し付け加えるならば、チュチェ思想にたいする強調は多くの人々がこの思想を誤って解釈し、正しく理解していないことによるものです。これと関連して解明すべき多くの質問がありますが、非常に重要です。

第一に、哲学史の発展においてチュチェ哲学はマルクス主義の唯物弁証法を発展させたものなのか、あるいは人間中心の新たな哲学的原理であるのか？ここで必ず強調すべきことはチュチェ哲学が世界と人間との関係問題を新たに提起し、人間の運命開拓の道を示したということです。チュチェ哲学は史上初めて人間の本質的属性を科学的に解明し、人間を世界でもっともすぐれた有力な存在として押し立て、世界は人間によって支配され、改造されるという世界にたいする新たな見解を提起しました。

第二に、唯物弁証法的世界観とチュチェ哲学の世界観の関係は何ですか？強調すべきことは多くの人がこの二つの理論、唯物弁証法的哲学とチュチェ哲学とを混沌することです。両哲学間の本質的差は人間にたいする見解における差にあります。

唯物弁証法とマルクス主義を現実に適用する過程に現れた欠陥を一方に、従来の哲学と他の創造的な理論としてのチュチェ哲学を他の一方にして、互いに混沌してはならないという側面でチュチェ哲学を具体的に理解することは非常に重要です。

チュチェ思想を正しく、計画的に普及して、その理解が難しくないように、世界的な変化発展に合致して、マルクス主義が犯したミスに陥らないようにすべきです。

これはチュチェ思想の光とその効率を固守し、あらゆる修正主義的なものと日和見主義的潮流を排斥しようというところにあります。透明性と正確性はチュチェ思想の本質と内容を固守し、その威力を高め、牽引力を高める上で基本です。

これと関連して現在、アラブ地域と中東地域で特に、シリアで行われていることは、

朝鮮革命の道が正しかったことを示す証拠であるということを示すのは非常に重要です。アラブ地域はアメリカと他の西側諸国、地域の追随国の絶え間ない陰謀策動に挑戦されています。今までシリアが数年間も引き続き挑戦されていることは、史上もつとも嚴重なものであるかも知れません。それらはすべてシリアが帝国主義とその計画、すべての陰謀策動に反対する立場をもっているからです。今日、シリア人民と軍隊、党と卓越した指導者バシール・アル・アサドはアラブ地域と中東地域で帝国主義とその手先どもの策動をもつとも大きなネックと見なしています。

ゆえに、アラブ諸国とシリアをはじめ、各国は世界の帝国主義とは対話や接触が通じず、ただ力の論理のみが通じることを知るべきです。朝鮮の経験を学んでいる先見の明がある知性人であれば、帝国主義に立ち向かって成功し繁栄する国を建てた秘訣はチュチェ思想のような革命思想をもっていることにあったということを知覚するでしょう。朝鮮のような国で収められた偉大な成果の秘訣は、まず人間を思想的に、革命的に育て、それに依拠してその人間性を尊重するところから求められます。これはチュチェ思想の役割です。次に、あらゆる侵略と陰謀策動に立ち向かうことのできる武装と武力をもった強力な人民と社会を建設したことです。これは朝鮮で収めたことです。

国際舞台で進歩的諸政党は今日、情勢と環境が複雑で困難であっても反帝・自主の旗を高く掲げて世界のすべての国家の自主権と尊厳を神聖化する朝鮮労働党に模範を見出し、全的な鼓舞を受けています。朝鮮労働党は真に世界の進歩的勢力に大きな力となっています。金正恩総書記は現時、世界の自由闘士と善良な人たちが見習っているモデル、並外れた方です。日増しにすべての進歩的人民には朝鮮人民と人民軍軍人が卓越した指導者の指導のもとに朝鮮労働党の周りに無比の意志で固く結束している限り、勝利は常に朝鮮労働党のものであるという確信が強くなります。

残念ながら現代に世界を支配するのは正義を知らず、世界の他の国々が自分の利害関係に従い、自分の言いなりになることを願う圧制勢力です。この勢力はそれらの国の人民の苦痛と希望などは眼中になく、他国の権利を蹂躪しています。こうした事実から奪われた権利はそれに反対し、すべての貪欲主義者に反対して断固立ち向かう力がなければ取り戻すことができないということを示します。それでわれわれと世界のすべての自由闘士は敬虔な心を抱いて朝鮮の経験、朝鮮の革命的政治の前に、チュチェの道に沿って勝利にむかって進んでいる朝鮮民族の指導部の前に立っています。「偉大な朝鮮人民よ、あなたたちはチュチェ思想を固守し、自らの指導部の周りに結束したがゆえに、朝鮮は常に勝利し繁栄するでしょう」

われわれは今日の現実に符合し、権利と自主権が蹂躪されたすべての国の真の救心点であるチュチェ思想の正当性について引き続き強調します。われわれはロシアにたいするウクライナとヨーロッパ、アメリカの侵略と中国と台湾問題にたいするアメリカの無

分別な行為、南朝鮮傀儡にたいするアメリカの破廉恥な支援を目撃しながらいつにもましてこれをよく強調するようになります。

朝鮮民主主義人民共和国で尊厳高い朝鮮指導部がチュチェ思想を堅持し、自国人民と軍隊を強化することは革命的なこの国を屈服させようというアメリカの暴悪な攻撃に断固立ち向かうようにする秘訣です。また、それは革命的なこの国がアメリカのすべての背信的な支配計画を常に打ち破るようにする秘訣です。